

PYLON RECOATING CATALOG

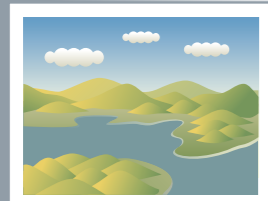
鉄塔塗料カタログ

環境別・使用目的別 塗装仕様のご提案



環境別・使用目的別 塗装仕様

環境条件重視



海浜地区・重防食環境



一般環境・山間部
旧塗膜の劣化脆弱部

重防食・高耐候性

塩害地域など
防食性を重視した環境へ
高耐候性上塗塗料で
メンテナンスの長期化

弱溶剤・高耐候性

環境がマイルドな場合
塗装回数を抑える
劣化した旧塗膜の場合
リフティングやチヂミを
弱溶剤タイプで軽減する
※旧塗膜が塩化ゴムの場合は
弱溶剤システムをご使用下さい

仕様No.1 (3回塗り)

変性エポキシ下塗 × 2回～
アクリルシリコン上塗 または ポリウレタン上塗
●3回塗り(下塗を2回・上塗1回)によって膜厚を確保し、防食性を重視している。
●高耐候性が必要な場合、上塗をアクリルシリコンに置き換えることにより、長期の耐候性を維持することができる。

仕様No.2 (2回塗り)

弱溶剤形変性エポキシ下塗～
ポリウレタン上塗 または アクリルシリコン上塗
●低研掃部へのターペン可溶性の下塗を使用することにより、リフティング・塗膜のチヂミを防ぐことができ、各種旧塗膜への適性がある。
●高耐候性が必要な場合、上塗をアクリルシリコンに置き換えることにより、長期の耐候性を維持することができる。

飛散防止・工程短縮 (1工程)

低飛散タイプで周囲への
飛散を抑える
停電作業を短くするため
塗装回数を減らす
(1回塗り)

仕様No.3 (1～2回塗り)

飛散防止形塗料～
エポキシ樹脂 または 下上兼用塗料
●下塗・上塗兼用塗料で飛散防止形1回塗りを実現。
●淡彩色であればエポキシ樹脂タイプのタワーマンで1回塗りが可能。防食性重視。
●タワーマンIIは上塗も兼用。
●必要に応じて2回塗りも可。

速乾・高耐候性

1日2工程の塗装を行える
(気温20℃前後)
1液形で施工性アップ

仕様No.4 (2回塗り)

1液形変性エポキシ下塗～
ポリウレタン上塗 または 塩化ゴム系上塗
●塗装間隔4時間/20℃のため1日2工程が可能。
●塩化ゴムとの組み合わせにより、塗装後の塗膜上の歩行も早く行える。
●下塗・上塗とも1液形タイプであり、塗料の管理が容易である。

工程短縮

1種類の塗料で
下塗・上塗を兼用する

仕様No.5 (1～2回塗り)

下塗・上塗兼用塗料
●1種類の塗料で下塗・上塗を兼用できる。
(持ち込む塗料品種を少なくすることができる。)
●環境が厳しい場合のみ2回塗りが必要。

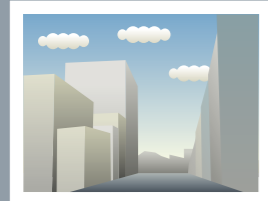
新設亜鉛めっき面

亜鉛めっき面用塗料で
付着性を安定させる。

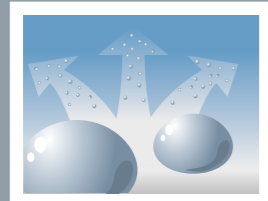
仕様No.6 (2回塗り)

亜鉛めっき面用エポキシ下塗
●一般的な2回塗り仕様。
●不安定な亜鉛めっき面に安定した付着性。

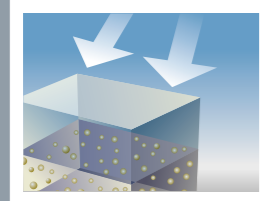
使用条件重視



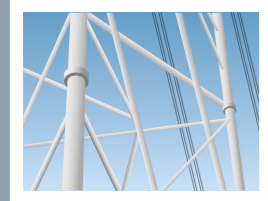
都市部



速乾性



上塗・下塗兼用



新設及び部材交換

仕様No.1 (3回塗り) 防食性・高耐候性

工程	塗料名	塗回数	塗布量(kg/m ²)	膜厚(μm)	乾燥時間 20℃
下塗	アルテクトNB(1液形変性エポキシ樹脂下塗)	1	0.24	60	4時間～3ヶ月
下塗	アルテクトNB(1液形変性エポキシ樹脂下塗)	1	0.24	60	4時間～3ヶ月
上塗	セラテクトU上塗(ポリウレタン樹脂塗料上塗)	1	0.12	25	16時間以上
または					
上塗	セラテクトSマイルド上塗(アクリルシリコン樹脂上塗)	1	0.12	25	4時間以上

※下塗りはエスコNBマイルドでも可

仕様No.2 (2回塗り) 弱溶剤・高耐候性

工程	塗料名	塗回数	塗布量(kg/m ²)	膜厚(μm)	乾燥時間 20℃
下塗	エスコNBセーフティ(弱溶剤形変性エポキシ樹脂下塗)	1	0.24	60	16時間～1ヶ月
上塗	セラテクトUマイルド上塗(弱溶剤形ポリウレタン樹脂塗料上塗)	1	0.12	25	16時間以上
または					
上塗	セラテクトSマイルド上塗(弱溶剤形アクリルシリコン樹脂)	1	0.12	25	4時間以上

※下塗りはエスコNBマイルドでも可

仕様No.3 (1～2回塗り) 飛散防止形

工程	塗料名	塗回数	塗布量(kg/m ²)	膜厚(μm)	乾燥時間 20℃
下塗	タワーマン/タワーマンG(飛散防止形送電鉄塔専用)	1～2	0.32	80	16時間～1ヶ月
または					
上塗	タワーマンIIセーフティ(飛散防止形送電鉄塔専用)	1～2	0.24	60	16時間～1ヶ月

※必要に応じて2回塗りを行う

仕様No.4 (2回塗り) 施工性重視：1液形塗料タイプ

工程	塗料名	塗回数	塗布量(kg/m ²)	膜厚(μm)	乾燥時間 20℃
下塗	アルテクトNB(1液形変性エポキシ樹脂下塗)	1	0.24	60	4時間～3ヶ月
上塗	タワーマン1M-U(弱溶剤形1液ポリウレタン樹脂塗料上塗)	1	0.13	30	3時間以上
または					
上塗	ラバテクトN上塗(塩化ゴム系上塗)	1	0.15	30	16時間以上
上塗	タワーマン1M-S(弱溶剤形1液アクリルシリコン樹脂塗料)	1	0.13	30	2時間以上

仕様No.5 (1～2回塗り) 工程短縮 下・上兼用塗料

工程	塗料名	塗回数	塗布量(kg/m ²)	膜厚(μm)	乾燥時間 20℃
下上兼用	ユニテクト20セーフティ(下塗・上塗兼用塗料)	1～2	0.19	60	16時間～7日

※必要に応じて2回塗りを行う

仕様No.6 (1～2回塗り) 新設亜鉛めっき面

工程	塗料名	塗回数	塗布量(kg/m ² /回)	膜厚(μm)	乾燥時間 20℃
素地調整	シンナー拭き、水洗いなどにより素地面に付着した油脂類、その他の異物を完全に除去する。 スィーププラスト処理(ISO Sa1)あるいはりん酸亜鉛化成処理を行う。				
下塗	エポマリンGX(亜鉛めっき面用エポキシ樹脂下塗)	1	0.30(スプレー)	60	16時間以上
上塗	セラテクトU上塗(ポリウレタン樹脂塗料上塗)	1	0.14(スプレー)	25	16時間以上

注1)素地調整においてスィーププラスト処理が困難な場合はりん酸塩処理とし処理後7日以内に下塗を塗装する。

素地調整 (共通)

塗装前に下記素地調整を行ってください。

素地調整	2種ケレン又は3種ケレン	<ul style="list-style-type: none"> ● 動力工具・手工具を用いて赤さびや、脆弱化した旧塗膜を除去し、活膜部は全面表面粗しを行う。 ● 白さび・油分・一般汚れ等を十分に除去し、清浄な面とする。 ● 旧塗膜がシルバーの場合、脆弱化した旧塗膜が多いため十分に除去を行って下さい。
------	--------------	--

期待耐用年数

	上 塗	5年	10年	15年
仕様No.1	アルテクトNB×2回 ～セラテクトU上塗	→		
	アルテクトNB×2回 ～セラテクトSマイルド上塗	→ (注2)		
仕様No.2	エスコNBセーフティ ～セラテクトUマイルド上塗	→		
	エスコNBセーフティ ～セラテクトSマイルド上塗	→		
仕様No.3	タワーマン/タワーマンG	→		
	タワーマンIIセーフティ	→		
仕様No.4	アルテクトNB ～タワーマン上塗1M-U	→		
	アルテクトNB ～ラバテクトN上塗	→		
	アルテクトNB ～タワーマン上塗1M-S	→		
仕様No.5	ユニテクト20セーフティ	→		
仕様No.6	エポマリンGX ～セラテクトU上塗	→		

注1) 上記の年数は目安であり、環境条件により異なる場合がありますのでご了承ください。 注2) 上記の年数は防食性・耐候性を考慮した目安としています。

ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。

詳細な内容については化学物質等安全データシート (MSDS) をご参照ください。

■ 予 防 策

取り扱い作業中・乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具 (帽子・保護メガネ・マスク・手袋等) を着用し、身体に付着しないようにすること。

吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。

皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。

火気避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。

火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。

裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。

本来の目的以外に使用しないこと。

指定材料以外のものとは混合 (多液品の混合・希釈等) しないこと。

缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。

取り扱いは、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。

使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。

本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

■ 対 応

目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。

皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。

吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。

飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。

漏出時や飛散した場合は、砂、布類 (ウエス) 等で吸い取り、拭き取ること。

火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

■ 保 管

指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。

直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。

子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

■ 廃 棄

本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

■ 施工後の安全

本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症

ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

本 社 TEL (03) 5711-8904 FAX (03) 5711-8934
 北海道販売部 TEL (0133) 64-2424 FAX (0133) 64-5757
 東北販売部 TEL (022) 287-2721 FAX (022) 288-7073
 北関東信越販売部 TEL (028) 637-8200 FAX (028) 637-8223
 東京販売部 TEL (03) 5711-8905 FAX (03) 5711-8935
 中部販売部 TEL (052) 262-0921 FAX (052) 262-0981
 大阪販売部 TEL (06) 6203-5701 FAX (06) 6203-5603
 中国販売部 TEL (082) 262-7101 FAX (082) 264-3285
 四国販売部 TEL (0877) 24-5484 FAX (0877) 24-4950
 九州販売部 TEL (092) 411-9901 FAX (092) 441-3339

ご用命は

*製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご了承ください。

(14年05月02刷PPO) カタログNo.344